

加工性評価ーメルトフローレート

試験概要

熱可塑性プラスチック材料を特定の温度及び荷重条件下で溶融させ、ダイから押し出したときの押出速度を測定する。

MFR(g/10min), 溶融密度(g/cm³)

MVR(cm³/10min) ⇒既知の溶融密度が必要

ただし、熱可塑性プラスチックの中でもそのレオロジー特性の挙動が、加水分解・後縮合・架橋などの影響を受けるものには適用できない。

温度測定範囲:100~300°C(フルレンジ) 合成抵抗式サーミスタ 0.3 級(PKB-58)

公称荷重(ピストン 0.15kg を必ず含む):

0.325kg, 2.16kg, 5.00kg, 10.00kg, 21.60kg その他 50.00kg 程度まで

必要試料量:約 50g(ペレット状が望ましい)

